



# うのてん報

発行所  
秋田県天王町役場  
(天王局 1番42番)

編集  
天王町役場総務課

印刷  
一日市印刷所  
電話 38番

町章  
8月1日現在の天王町  
本籍数 3,969  
本籍人口 13,987  
世帯数 2,703  
世帯登録人口 12,898  
内 男 6,424  
女 6,474

第18号 昭和40年9月1日発行

## 国保の運営に理解と協力を

天王町長 藤原慶三郎

(一)国民健康保険とは  
健康で長生きをしたいと願わない人はありません。町においても、このような町民の願望を達成するのが理想であります。

我が国では国民の健康と長寿のために、国民皆保険といわれる医療保険制度を採用しています。国民のすべては職場を中心とする健康保険か、市町村の地域を範囲とする国民健康保険(国保)のいずれかに、加入しなければならぬ義務があります。

天王町は昭和三十三年十月から国保を実施し、今年で八年目を迎えて利用度は増々高まっています。現在、被保険者数は八、九三五名(一、七七七世帯)で、町民の大多数が加入しています。すなわち、これらの町民が相互扶助の精神をもつて、互いに一定の保険料を町に納め、町はこれらからの交付金と合わせて医療機関に対する支払いや、出産、葬式の際の見舞金、血圧測定、乳幼児保育の保健指導などに使用しています。

(二)国保の収支について  
本町の国保の受診率は年々上昇し、昭和三十四年の年間受診率は一人一・七回であったものが、本年度予算では三回を見込まざるを得なくなっています。また、一

件当たりの医療費も昭和三十四年度の一、一六八円から、本年度は二、四六四円と倍増になっています。したがって支払い金額も増高の一途をたどり、総医療費は三十四年度の一、六〇〇万円から、本年度は四倍以上の六、五〇〇万円という数値を示しています。

この増高の原因は、前記の受診率の増加をはじめ、医学の進歩ともなう医療の適用、大巾な給付の拡大と改善、それに高価薬の使用や医療費の値上がりなどが要因であります。また、来年度からは全被保険者が七割給付(現在は世帯主のみ)となり、経費はさらに増加を予想されます。

一方国保の収入の方は、相互扶助の精神に基づく被保険者のかけ金である「保険税」と、本制度助成のため一定の割合で国から交付される「国庫負担金」に大別され本年度に例をとると保険税は一、四四八万円、国庫負担金は二、七〇〇万円となっています。

(三)保険税について  
保険税が本制度成立の基本をなすものであることは前記の通りですが、医療需用の増加と共に、保険税も年々増加してきています。たとえば昭和三十四年の六八〇万円が、本年度は一、四三〇万円と大巾に増加し、特に本年度に急増

したのは、昨年度までのように、前記のためにいた剰余金で不足分を補うということが出来なくなつた結果で、町民皆さんも不審に思われたことと思います。

この保険税の増高については各市町村とも悩みのタネであり、町民各位にはまことにお気の毒であります。この収入がないと国保の運営は出来なくなりますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

特に本町の保健税の収納成績は年々向上してはいますが、まだ他町村に比して著しく低位でありますので、特別のご配慮をお願いしなければならぬのであります。

(四)国保の今後のあり方  
国保はその仕組みの上から、働き盛りの人々とその家族はほとんど職場保険に加入しているのので、職場を持たない人(本町では主として農家)、低所得者、老令などの理由で離職された人、長期疾病のため職場保険を打ち切られた人など、所得が少なく医療費のかかる人を対象としているわけです。

このように国保は、職場保険にくらべて給付内容が低いにもかかわらず、次第に赤字を増すことは当然とされるのです。この矛盾を是正して国民が平等の社会保障の恩恵に浴するためには、まず各種社会保障の一本化が先決要件であり、天王町議会および国保運営協議会は秋田県議会と共に、これに關する決議をあげ、他の全国各地の議会と相呼応して、国の強力な施策を要求しているのであります。

す。また、保険税の拒税能力はすでに限界にきており、国庫補助の大巾増額も併せて要望している次第です。

(五)す、び  
国保制度がいま、重大な岐路にあることは前にも述べた通りですが、この制度の国民福祉に及ぼす影響を考えると、私共はあらゆる努力を払つてもこれを立派なものに育て上げる必要があります。いま、一例を本町の年間死亡者数にとつて見ますと昭和三十四年一〇六名のものが、年々減少して昭和三十九年には実に六三名に激減しております。この原因は国保に負うところ大であります。

私共は健康と長寿を守るためにお互いに手を携えて、国保の適正な運用とその発展に努力しようではありませんか。最後に町民皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたします。

昭和四十年九月一日

### 九月のこよみ

- 1日 二百十日、性病予防週間
- 10日 関東大震災記念日
- 11日 十五夜、水道促進デー
- 15日 二百二十日
- 19日 第二十回国体夏期大会
- 20日 航空日、彼岸入り
- 23日 秋分の日
- 24日 結核予防週間
- 26日 彼岸明け
- 月興名 長月、紅葉月
- 誕生石 サファイア

# おとしよりのつどい

## 九月十五日 天中体育館で

九月十五日は「としよりの日」で、この日から老人福祉週間が始まり、各地でおとしよりのつどいが催され、長寿をお祝いするつどいが催され、天王町でも当日、恒例の敬老会を天王中学校体育館で開催します。

今年天王町で満七十才以上のこの日を迎えられた人は、天王の鎌田ソノさん(八十九才)をはじめ左記の二百八十一名(男1百二十三名。女1百五十八名)の皆さんで、このうち八十才以上の人が四十五名もいます。

会は当日午前十一時からです。おじいさん、おばさんおさそい合わせて、お出かけください。

民謡大会などで楽しい一日を過ごしていただく予定です。なお、左記にお名前もれている方でも満七十才以上の方はおいでください。

▽塩口 桜庭幸助71、桜庭リエ70  
石川キヨ78、桜庭竹吉74、桜庭清之助73、米谷トク75、桜庭金松70  
桜庭永太郎71、桜庭多市71、桜庭トミ81、木元キサ77、丸谷キナ73  
桜庭キエ78、米谷チヨ80、桜庭クラ78、桜庭リツ75、桜庭久太郎70  
木元カネ70、桜庭タマ75  
▽中羽立 菅生与市郎79、目黒多助70、菅生福治74、菅生喜一75、菅原リイ85 菅生喜代吉70、菅生留吉74

▽羽立 安田リノ75、安田利七73  
安田貞蔵70、児玉留吉71、安田リエ72、鈴木サタ72、安田キノ71、菅生堅治74、菅生チヨ72、安田ミン70、安田ケン74、安田春松80  
鈴木タカ70、安田トヨ70、鈴木サタ71、江島チヨ70、鈴木モヨ81、安田キヨノ70、根スエ70、鈴木ハル72、鈴木サタ76、安田ソノ83、安田リツ84、山寺ナヲ77

△渋谷 桜庭ミナ72、渋谷倉吉84  
渋谷金蔵79、桜庭ナカ85、桜庭福治70、丸谷友吉77、米谷応治78、三浦リン70、加藤ツル81、桜庭チナ71。

▽天王 柏崎力子76、西村友八85  
沼田力子82、石川松蔵71、石川タケノ71、児玉サタ79、石川祐太71  
吉沢トメノ70、児玉良太83、金子力蔵77、金子ハル74、鎌田和助78  
戸田金五郎71、戸田イト71、戸田礼吉75、相沢助蔵75、石川キク72  
北島フメ71、佐々木リヤ70、京谷仁三郎70、村山カネ75、村山兼吉83、戸田権蔵77、戸田ハナ71、沼田為治82、沼田チヨ82、石黒政吉76、菊地留吉74、石川トメ81、村山チヨ84、杉淵行吉72、柏崎与市71、米谷民吉75、柏崎東太82、柏崎ノエ76、京谷エツ77、佐藤クラ74、金子源吾72、越後カネ78、児玉正治71、児玉東右エ門71、米谷ナヲ71、石黒堅治80、戸田定吉78

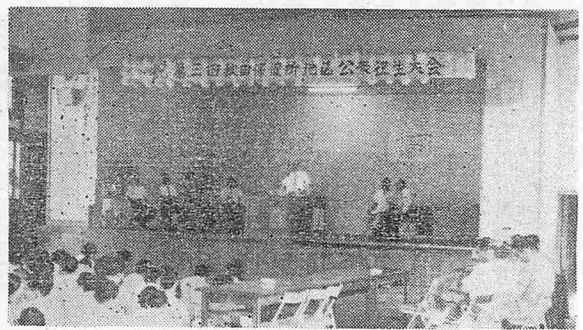
▽大崎 吉田キクノ72、三浦徳太郎78、吉田ムメ78、石井茂助78、和田ハナ72、三浦清之助72、吉田ハル76、三浦キク70、三浦源蔵70、三浦トヨ78、鈴木佐市86、三浦寅之助75、三浦カネ74、三浦キヨ72  
三浦キヨノ72、三浦喜代吉70、吉田市太郎71、三浦スナ71、吉田礼助71、三浦フツ86、三浦リエ71、三浦チヨ72、吉田リン73、菅原ミエ74、稲田忠三郎75。

▽二田 小柳イワ83、鈴木ナツ77  
武田キサ75、滑川ノフ77、三浦隆次70、小柳周太79、渡辺政吉71、福田富治74、安田仁三郎70、大関良三73、吉田佐市76、藤原スワ74

越後谷トミ71、戸田サタ79、越後アネ77、菊地キエ73、鎌田ソノ89  
京谷力子76、金子富治73、戸田スモ73、鎌田圭太郎70、京谷銀蔵76  
児玉力之助74、鎌田カノ70、越後ソノ70、京谷長治81、石黒ナミ70  
鎌田喜平治74、沼田喜一郎75、柏崎キノ76、伊勢谷勝太郎72。

▽江川 伊藤ミサ80、伊藤カネ75  
伊藤ジョウ75、伊藤ミン85、石谷トメ73、藤原末吉78、伊藤喜市71  
伊藤ツルエ74、伊藤タケ70、児玉留吉82、伊藤テツ73、佐藤政治70  
伊藤スノ78、伊藤倉之助70、伊藤トヨ77、伊藤与七76、藤原タカ71、伊藤藤原市之助71、藤原タカ71、伊藤勝五郎71、伊藤トメ73、藤原セツ72、藤友サツ82、伊藤スワ86、石黒富之助76、藤原サキ75、伊藤ツヨ75、伊藤謙治郎72。

▽児玉 今井サツ79、松村利市78  
薄田留吉74、佐藤スノ70、松村シナ73、渡辺サン76、森元オモラ74  
吉元七五三吉70。



### ◇第三回◇ 公衆衛生大会開かる

秋田保健所管内四市町村が集って開いている公衆衛生大会の第三回大会が、去る八月二十日、本町天王小学校で開催された。これは保健所と市町村、それに地域住民の三者が一体となって健康への留意と環境衛生の認識を高め、文化生活の向上をはかるというもので、当日会場には婦人会をはじめ関係者約三百名が出席し、いろいろの話しに耳をかたむけて公衆衛生向上への今後の問題点をつかみとつていた。

また、公衆衛生関係に関し、左記の功労者と団体(本町関係分)が当日表彰を受けた。

◇公衆衛生功労者 天王町天王 児玉兼蔵氏  
◇同 優良団体 大崎 支部 天王町婦人会 上戸支部 同

三浦清之助76、神田平治郎70、菅原善蔵74、小柳フヨ73、二田是儀70、沼田カツ80、渋谷チヨ85、渋谷兼吉80、佐藤キクエ71、近藤ソノ74、伊藤辰蔵73、大関テツ82、浅野末治70、小野ソノ73、伊藤カネ70、伊藤トキエ74、斎藤リヨ73  
大関マツ82、高橋三治郎72、工藤由蔵70、加藤利吉70、加藤サト70  
工藤兼蔵71、沢畑礎松73、小沼徳太郎72、沢畑マサネ70、島山富五郎70、藤原嘉七73、小野スミ72、藤原文治70、代田シユン  
▽鶴沼台 加賀谷亀治72。  
▽蒲沼 船木イト75。  
▽下出 佐藤スエ76、加賀谷スエ74、加賀谷キサ80、加賀谷キヨノ71、加賀谷兼五郎75、加賀谷堅蔵75、佐々木金五郎72、加賀谷仁吉75、飯島竹松71、菊地ミナ72、高橋サタ72、加賀谷兼松73、菊地佐藤岩吉76。

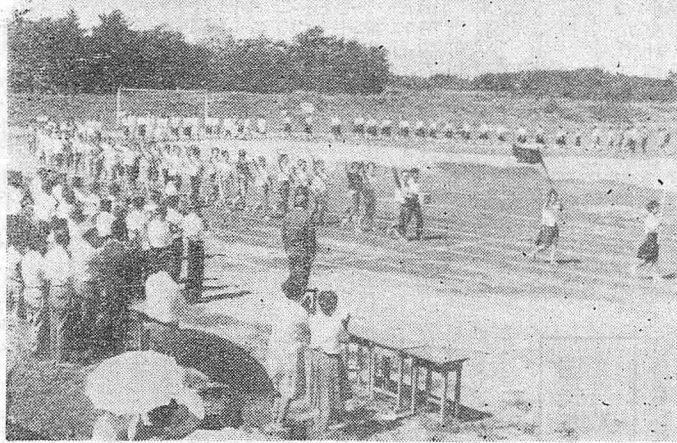
政治75、菊地カネ70、佐々木善蔵72、佐々木カヨ73。

▽戸開拓 加藤倉蔵  
▽細谷 佐藤マキエ70、菅原フジエ70、菅原富治71、菅原与市85。  
▽上戸 菊地カネ72、菊地シツ80、菊地トヨ72、鈴木勇之助73、渡部カント71、渡部ハナ79、渡部ハナ80、佐藤サタ82、古山テツ74、鈴木富五郎70、菊地ヨリ77、菊地キン75、菊地ナミ72、柴田クラ84、鶴谷平古74、鶴谷チカ71。  
▽追分 小浜ミイ76、三浦ツキ73  
佐藤勝三77、佐藤ナチ73、菅井福治郎82、安田銀平71、近藤キエ88  
成田亀之助79、安田惣助73、木名瀬チタ77、武田儀一70、佐々木三蔵81、藤田チエ74、佐々木モト76  
以上

# 老いも若きも一つになつて

## 第十二回町民運動会

今年も日頃の重労働から解放され、稲刈前の一日をレクリエーションを兼ねた運動会で過ごそうと、天王町体育協会が主催した町民運動会が去る八月二十日天王中学校グラウンドで開催された。老いも若きも一つになつてのスローガンにふさわしい多種多様な種目が生まれ、終始ユーモアを含めた中にも熱中した競技を展開。家族ぐるみ、町ぐるみで残り少ない夏の日を過していた。



### 式入場

開会式は午前十時、海兵隊を演奏する天中ブラスバンドを先頭に国旗、町旗が続ぎ、そのあとをブラスバンドを持った天中女子生徒の先導で十三部落が堂々の入場行進をした。その中で、白シャツに黒のスカートという中羽立、全員赤いハチマキをしめた羽立、それに子ども連れの二田住宅の各部落が目玉をひいていた。

伊藤先生が指揮する天中ブラスバンドが吹奏されると、国旗、町旗が南風にひるがえり三浦副会長の開会宣言が青空に吸いこまれていった。

昨年の優勝部落男子羽立、女子塩口から優勝杯がそれぞれ返還され、町長、町議会議長から贈られた新たなカップが、残り少ない夏の陽射しをうけて輝いていた。

そのあと戸田会長が「異状天候で心配された稲作、畑作も皆さんの努力によつて平年並みというところまでこぎつき、ここに皆さんの協力のもとに町民運動会を開催できますことに感謝の意を表します」とあいさつ。また、名誉会長藤原町長は「皆さんとこの一日を共に過せることは喜びにたえない。日頃労苦に耐えている皆様がこの会で楽しい一日を過せるよう望み、また新産都市、教育などいろいろの問題に多難なものがある時、町民が一体となつてものごとを行なう意義は大きい。こうした会を通じて、明日の天王発展の源をつくり出してほしい」と祝辞を述べ、十時四十分競技へ移った。

### 珍競技迷競走にかつさい

台風十七号の影響を受けてか、このころ気温は早くも三十度を越し、衰弱しかけていた夏が一変に真夏の息吹きをとり戻したように暑く、水玉や花模様の日ガサがスタンドいっぱい咲き始めた。

種目最初はぐちそう競走で二十五米の中間にあるウドンを早食いする競走。こんなもの朝飯前ならぬ昼飯前とねじりハチマキでハッスルしていた。

続いての花嫁花婿さがしはヨメヤイ、ムコヤイと入り乱れて相手ががしに必死。嫁さんを

ムリヤリ引いて突つ走る強引型から、その逆の姉さん女房型。顔を見合わせながらのアツアツ型やカケオチ型までさまざまだった。

男子百米、女子五十米は文字通り顔をクシヤクシヤにしての熱戦。現代つ子も昔の少年もテープめざして最初つかからトップギヤでふかしていた。

また、スピードと体力を競う千五百米はお屋過ぎ三十名がスタート。最終コーナーをまわるころには半才となつたが、その中今年五十才という上出戸の古山さんが、左足にケガをしていながら根性を見せて最後までがんばり、万来の拍手を浴びていた。

部落リレーは当日最大の白熱競技となり、緑のスタンドをうずめた各部落の人達が、総立ちしてガンバレ、ガンバレルの声援。結局一般は男女とも大崎、学生は男子羽立、女子天王がチームワークよろしく優勝をものにした。

このあと君ヶ代マーチにつて仮装行列が登場。大会もクライマックスに達した。各部落の趣向をこらした仮装がスタンドを行進。上出戸と中羽立が、一面記事からともに新産都市をとりあげれば、羽立と二田住宅は、三面から住みよい郷土づくりと災害防止をとりあげ、それに、そのいのカスリに赤タスキの茶つみ乙女を装つた児王が加わつて、五部落がアイデアを競い、審査員をこまらせていた。

その後もワールドとトラツクでは競技が進められ、職場対抗リ

レーがこの日の競技を結んだ。ファイナレは婦人会有志七十六名が、ゆかた姿で花笠音頭、ニコ踊りをおどつて大会に花を添え、四時半過ぎ第十二回町民運動会の幕をおろした。

◎主な結果は次の通り

- △総合
- ①羽立 ②大崎 ③中羽立
- △部落対抗リレー
- 一般男子 ①大崎 ②羽立
- 女子 ①大崎 ②羽立
- 学生男子 ①羽立 ②天王
- 女子 ①天王 ②中羽立
- △仮装コンクール
- ①二田住宅 ②中羽立 ③羽立

### 役場人事

八月七日発令

- △総務課 庶務係長兼統計係長 船木雷治。財政係 菅生岩蔵。
- 同課勤務 鈴木正克。森田千佳子
- △経済土木課 課長心得 山寺富治。庶務係長 大関良作。庶務係 古山良雄。同課勤務 桜庭鉄雄。戸田栄春。
- △脱税課 町民税係長 三浦牧男。徴収係長 後藤基治。固定資産税係長心得 沼田紀三。
- △教育民生課 課長兼国民年金係長 大越萬治郎。水道係長 西村輝三。衛生係長 畠山照雄。民生係長 米谷久太郎。国保係長心得 三浦利栄。国保係 佐々木政雄。国保係税務課勤務 成田忠。同課勤務 大越宏。

# 国勢調査が行なわれます

◎十月一日◎

今年の十月一日には、全国一斉に「国勢調査」が行なわれます。国勢調査は国のもつとも基本的な統計調査で、今年は大正九年の第一回調査から数えて、ちょうど十回目になります。

この調査は、全国はもろろん、都道府県、市町村ごとの人口の大きさや男女、年齢、職業などの人口の構成を明らかにするため、五年毎に行なわれています。

国勢調査の結果は、国や都道府県、市町村などが教育、住宅、求人求職、環境衛生、地域開発、交通など、いろいろな問題の対策をたてる場合に欠かすことの出来ない資料となります。たとえば、新しく学校を建てたり、保健所を作ったり、職業訓練や職業紹介の仕事を計画する場合にも、住民についての正確な統計が必要になります。

とくに、最近就職や出かせぎなどで、農村から都市へ移動する人がふえていますので、市町村人口の大きさや男女、年齢、職業などの構成がかなり変つてきていると考えられます。国勢調査は、これらの実態を明らかにします。各家庭には国勢調査員が伺いして調査票への記入をお願いすることになっていきます。この調査は日本の全人口を全国一斉に、もれなく調べるものですので、ぜひとも町民皆様のご理解とご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

## 「残暑」(九月)

渡部 六 愁

乳で眠る児の腹掛けや蚊帳青し  
水打つてついでに跣足花に水  
台風がそれて県境日照り雨  
滅ぶ油井無欲に茂る草の丈  
ポプラ笑う光に灼けてトタン屋  
根

水領つ水門の垢青葉照り

## 国民年金に入っていますか

入っていますか

官庁や会社などに勤めて、各種共済組合や厚生年金に入っている人以外の、満二十才から五十九才までの人は、すべて国民年金へ加入しなければいけないことになっていきます。しかし一部には、この制度をよく理解していないのと、年金制度は遠い将来のためという事で、まだ加入されていない方があります。

日本では、今後老令人口は増々増加する傾向にあり、将来老人は若い人への負担つておれない状態となり、老人の座は今以上にきびしくなることが予想されます。そ

# 全国商工会珠算 検定試験合格者発表

—天王町商工会—

七月十一日行われた第十回珠算検定試験は一七九名が受験しこのうち四十九名が合格しました。合格者氏名は次の通りです。

- ◎二級 菅生若子
- ◎三級 鈴木豊子
- ◎四級 菅生勝、鈴木美代子、丸谷光子
- ◎五級 加藤聖子、児玉尚光、安田基樹、安田ゆき子、安田都

## 慶弔欄

七月中に婚姻届のあつた方 (○印は戸籍の筆頭者)

- 北天 王浦
- 大田 崎川
- 飯田 王浦
- 本庄 王浦
- 福島 王浦
- 児玉 王浦
- 雄出 王浦
- 下村 王浦
- 鹿島 王浦
- 江川 王浦
- 北川 王浦
- 二都 王浦
- 東都 王浦
- 御休 王浦
- 北海 王浦
- 御休 王浦
- 吉田 王浦
- 三浦 王浦
- 栗田 王浦
- 小野 王浦
- 松野 王浦
- 伊藤 王浦
- 森園 王浦
- 石井 王浦
- 加賀 王浦
- 藤原 王浦
- 藤原 王浦
- 松村 王浦
- 馬場 王浦
- 伊藤 王浦
- 大野 王浦
- 伊藤 王浦
- 三浦 王浦
- 浅井 王浦
- 児玉 王浦

菊地彰子。以上  
なお第十一回珠算検定試験は十一月十日です。たくさん応募して下さい。  
また、九月十二日には、秋田県珠算競技大会が秋田商業高等学校で行なわれます。

## 晴れの知事表彰

去る八月二十七日、県産業会館で行なわれた第十二回秋田県統計大会で、本町から左記の二氏が、統計業務に関する永年の功績に対し秋田県知事表彰を受けた。  
◆天王町江川 山寺 富治氏  
◆同 二田 薄田国三郎氏

- 峰川 山本秀雄
- 上江 湯沢百合子
- 江城 佐々木茂行
- 下新 中泉栄子
- 下戸 加賀谷謙悦
- 脇本 坂川キサ
- 岩手 佐藤進幸
- 大崎 藤田房子
- 東崎 三浦鶴子
- 江崎 伊藤一朗
- 井川 鎌田ヨシ子
- 川村 加賀谷清
- 追分 塗木シヅ子
- 神戸 市分
- 七月中に死亡届のあつた方
- 天王 京谷峰恵子(7才)
- 天崎 三浦金助(67才)
- 大崎 米谷政治(54才)
- 三田 鎌田チヨ(50才)
- 天田 鎌田チヨ(50才)
- 児玉 佐藤稔(29才)
- 大崎 三浦兼吉(48才)
- 七月中に出生届のあつたもの
- 男 七名、女一〇名、計一七名